

- **会社概要**
- **事業内容と商品について**
- **アマダの強み**
- **成長性**
- **中・長期経営計画**
- **株主還元**

創 業	1946年9月10日
事 業 内 容	金属加工機械の開発・製造・販売・保守
売 上 高	3,656億円 (2023年3月期)
従 業 員 数	9,018人 (2023年9月30日現在、連結)
格 付	A+ 格付投資情報センター (R&I)
株 式	東証プライム上場 (証券コード: 6113)

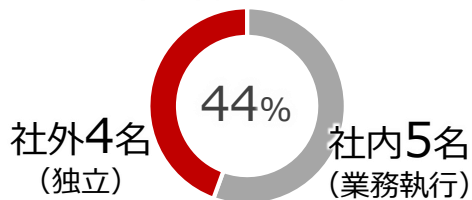


代表取締役社長執行役員
山梨 貴昭
2023年4月1日より就任

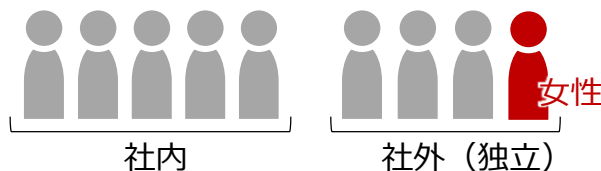
役員構成

取締役

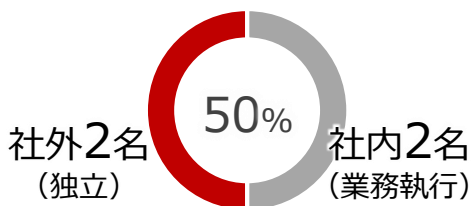
社外役員比率



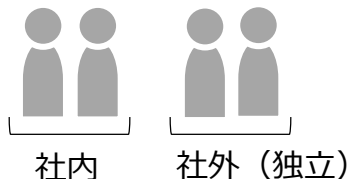
取締役 9名 うち、女性1名 (女性比率 11%)



監査役



監査役 4名



プレス自動化ソリューション事業

194億円

5.3%

その他

12億円

0.4%

切削事業・研削盤事業

435億円

11.9%

2022年度
売上収益

3,656億円

微細溶接事業

309億円

8.4%

板金事業

2,704億円

74.0%

板金部門

レーザーマシン



REGIUS-Ajeシリーズ

ベンディングマシン



HG-ATCシリーズ

溶接部門

レーザー溶接機



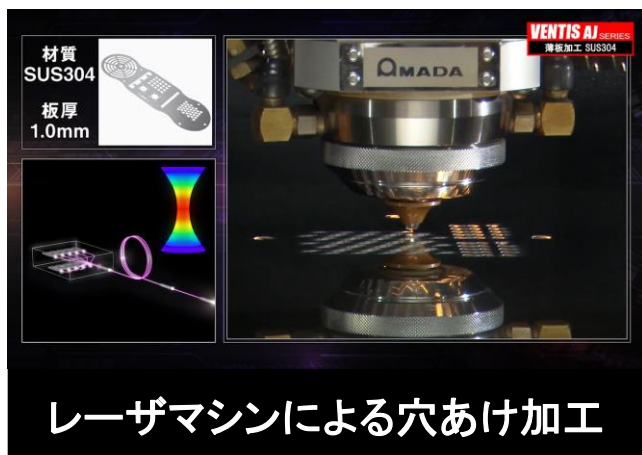
FLW-ENSISEシリーズ



ファイバーレーザー溶接機

板金部門

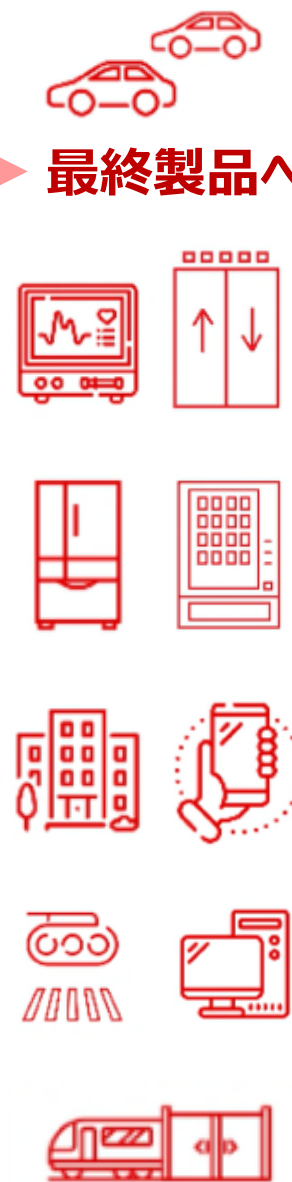
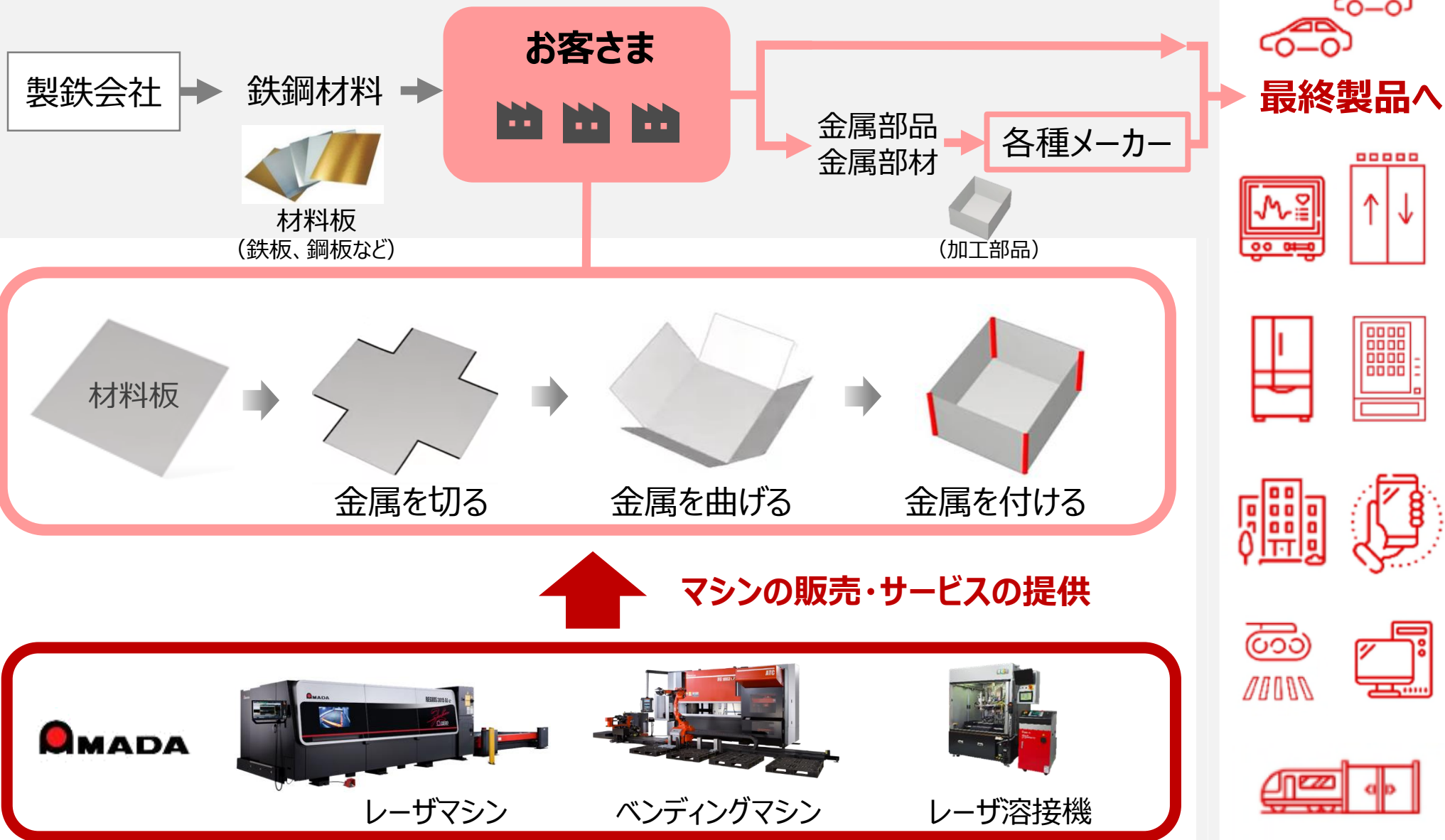
金属板に穴をあけたり、切断や曲げ加工などを行うマシンであり、ロボットや自動倉庫を組み合わせた自動化の提案も行っています。



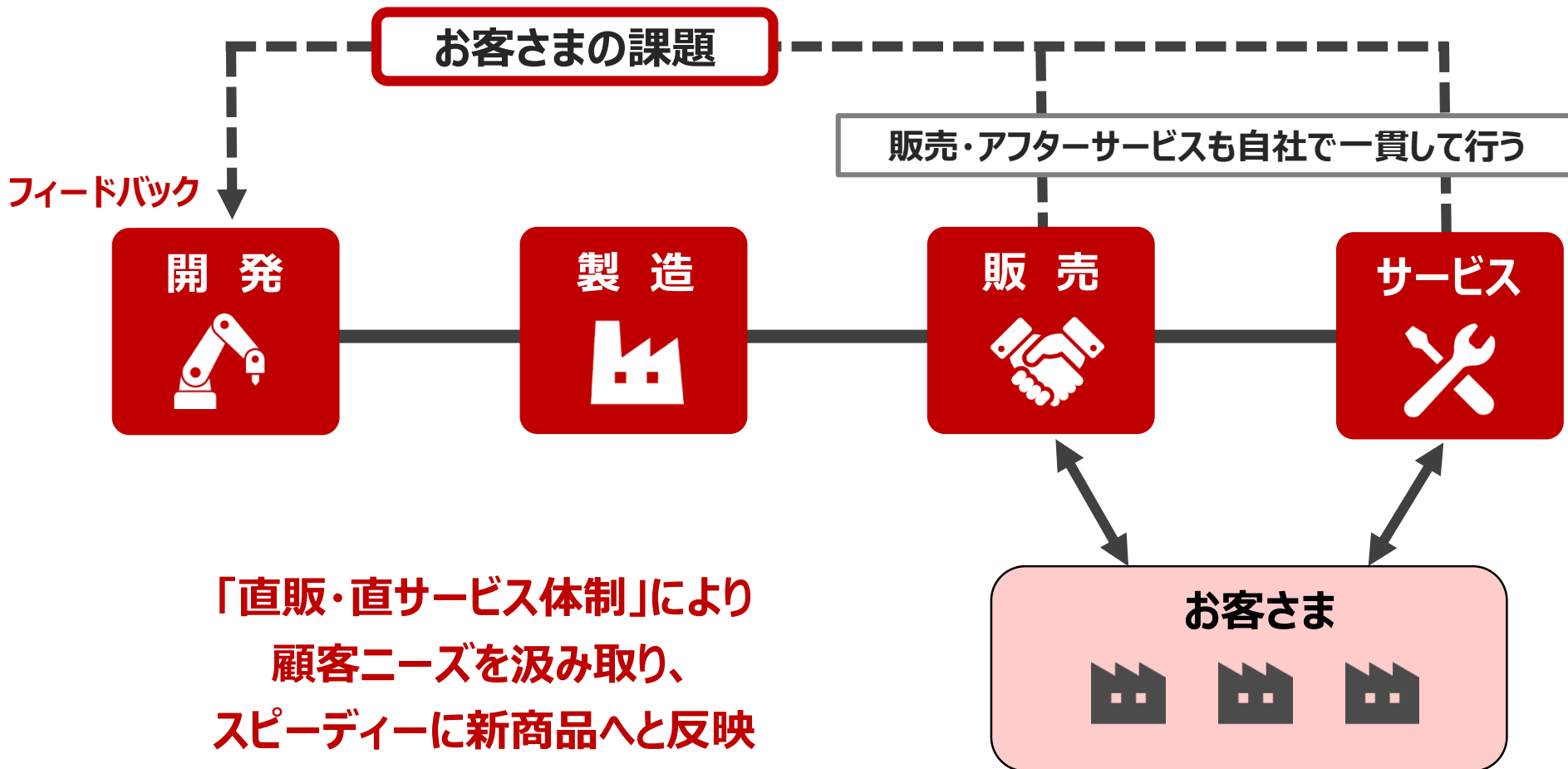
溶接部門

金属同士を溶接（接合）するマシンで、微細溶接用マシンの取扱いも行っています。

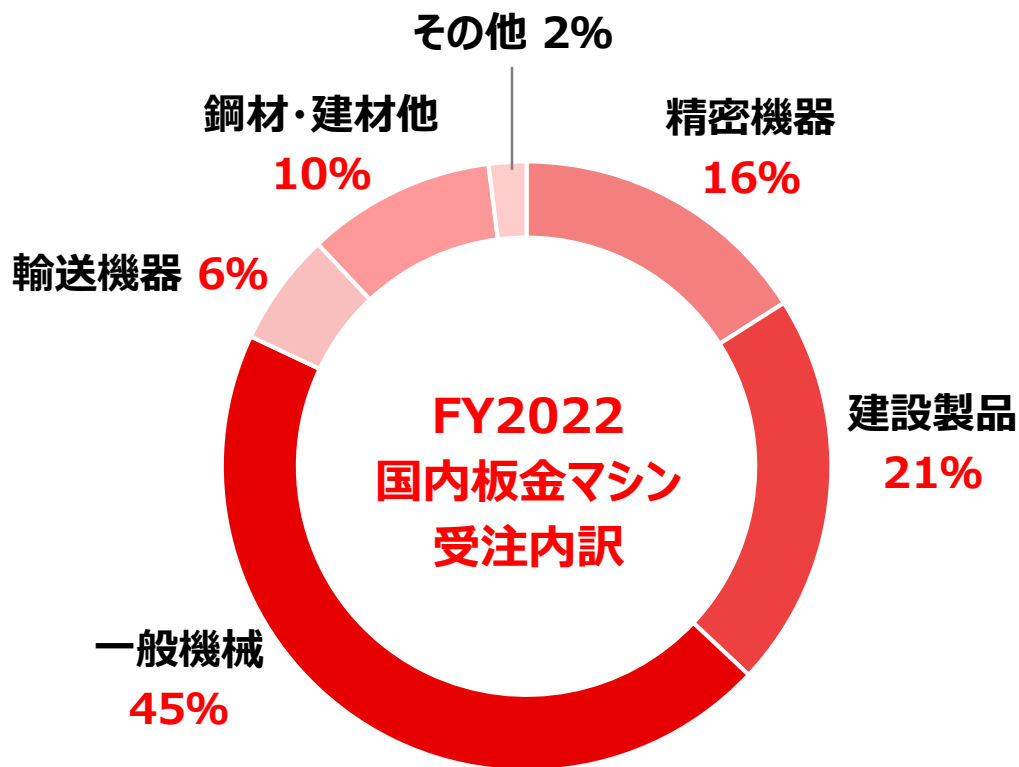




お客さまとともに発展する



「直販・直サービス体制」により
顧客ニーズを汲み取り、
スピーディーに新商品へと反映



シクリカルな機械セクターの中でも
景気変動の影響を受けにくい

【お客様が当社の機械で作るパーツの最終製品】

精密機器

電気電子機器、家電、
通信機器、医療機器等

例えば・・

MRI・CT装置



建築製品

厨房機器、空調設備、
サッシ、エレベーター等

例えば・・

シンク



一般機械

工作機械、半導体製造装置、
配電盤・制御盤、農機具等

例えば・・

EV充電ステーション



輸送機器

トラック・バス・特殊車両、
鉄道・信号等

例えば・・

消防車



鋼材・建材他

鉄骨・建設金属、
鋼材販売業、賃切断等

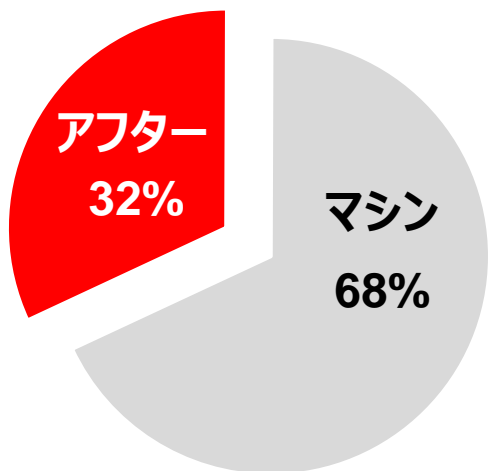
例えば・・

ビル



アフターサービス比率 30%超

充実したサポート体制により安定した収益基盤を確保



サービス



V-factory

リモート管理システム

- ・ マシンの稼働状態や生産実績をアプリで“見える化”
- ・ 材料やエネルギーの使用量や運用分析が可能

IoTサポート

- ・ リモートでの予防・保全・早期復旧支援
- ・ 稼働率改善支援（運用改善提案）

ソフトウェア



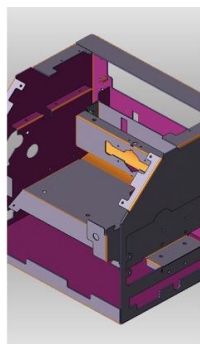
ソフトウェアで生産能力アップ

WILL

生産管理ソフト

VPSS4ie

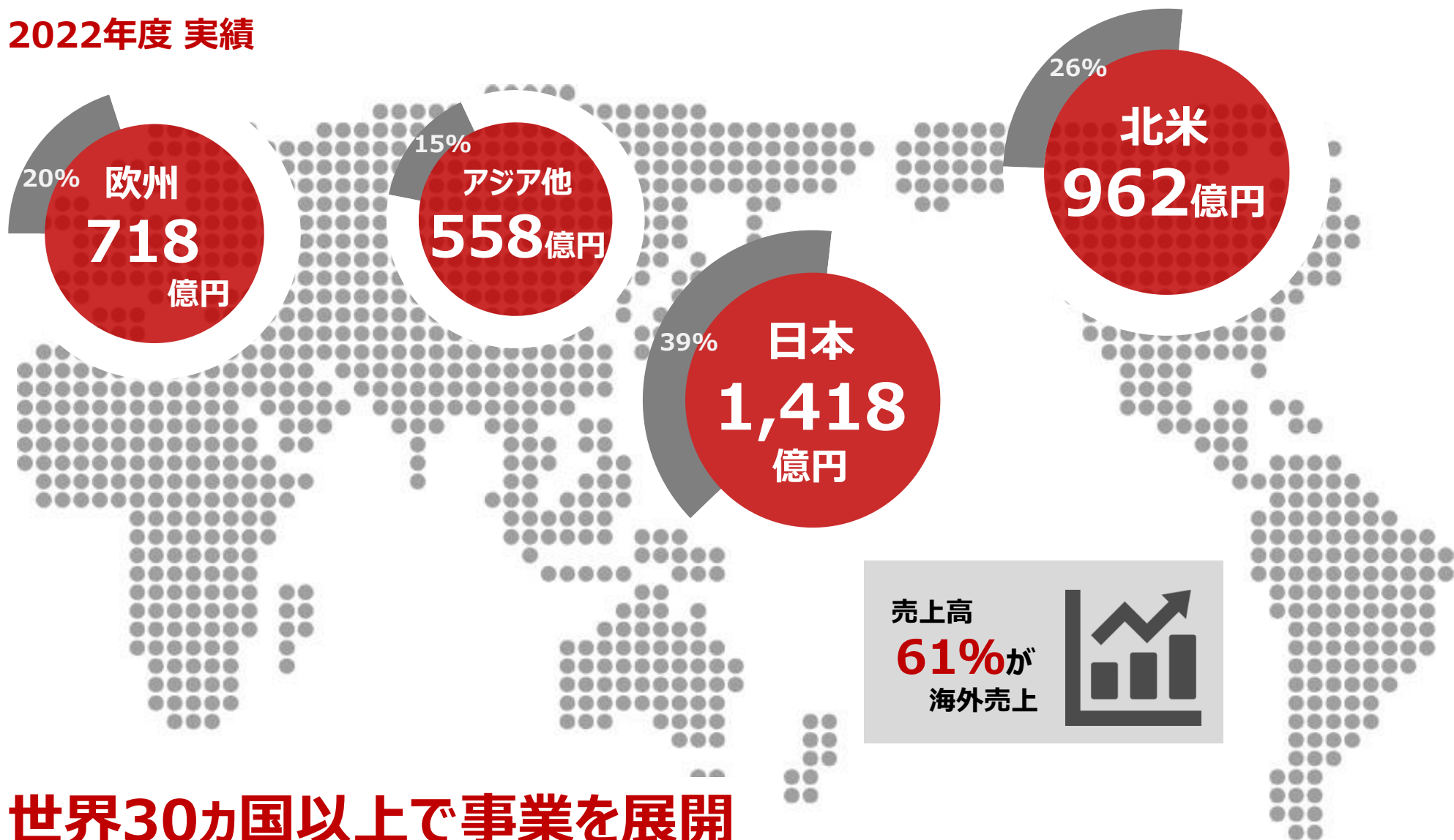
CAD・CAMシステム



消耗品 金型

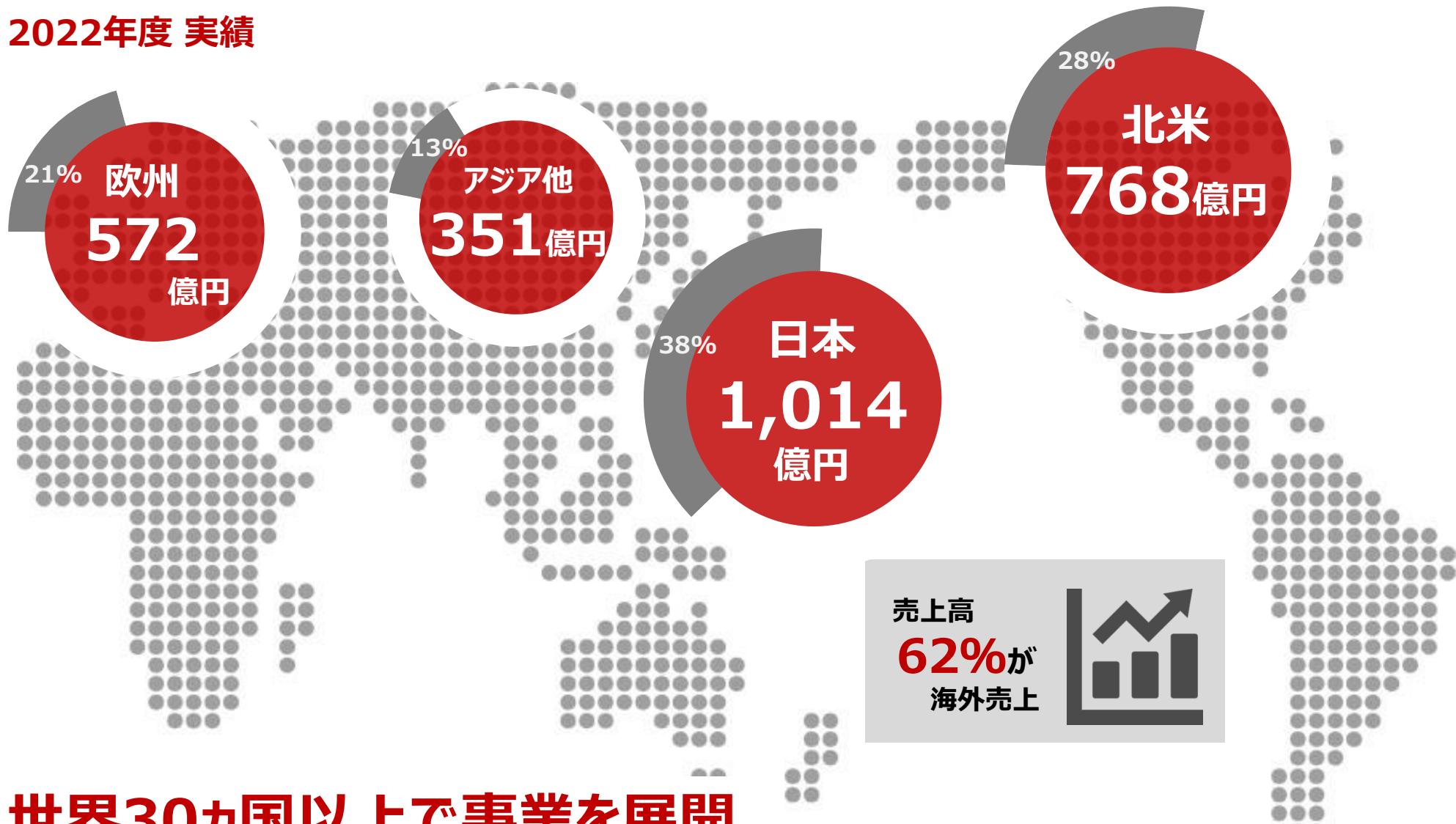


2022年度 実績



世界30カ国以上で事業を展開
既納入ネットワーク

2022年度 実績



世界30カ国以上で事業を展開
既納入ネットワーク

板金部門のみ

中期経営計画

長期ビジョン

従来商品

新商品

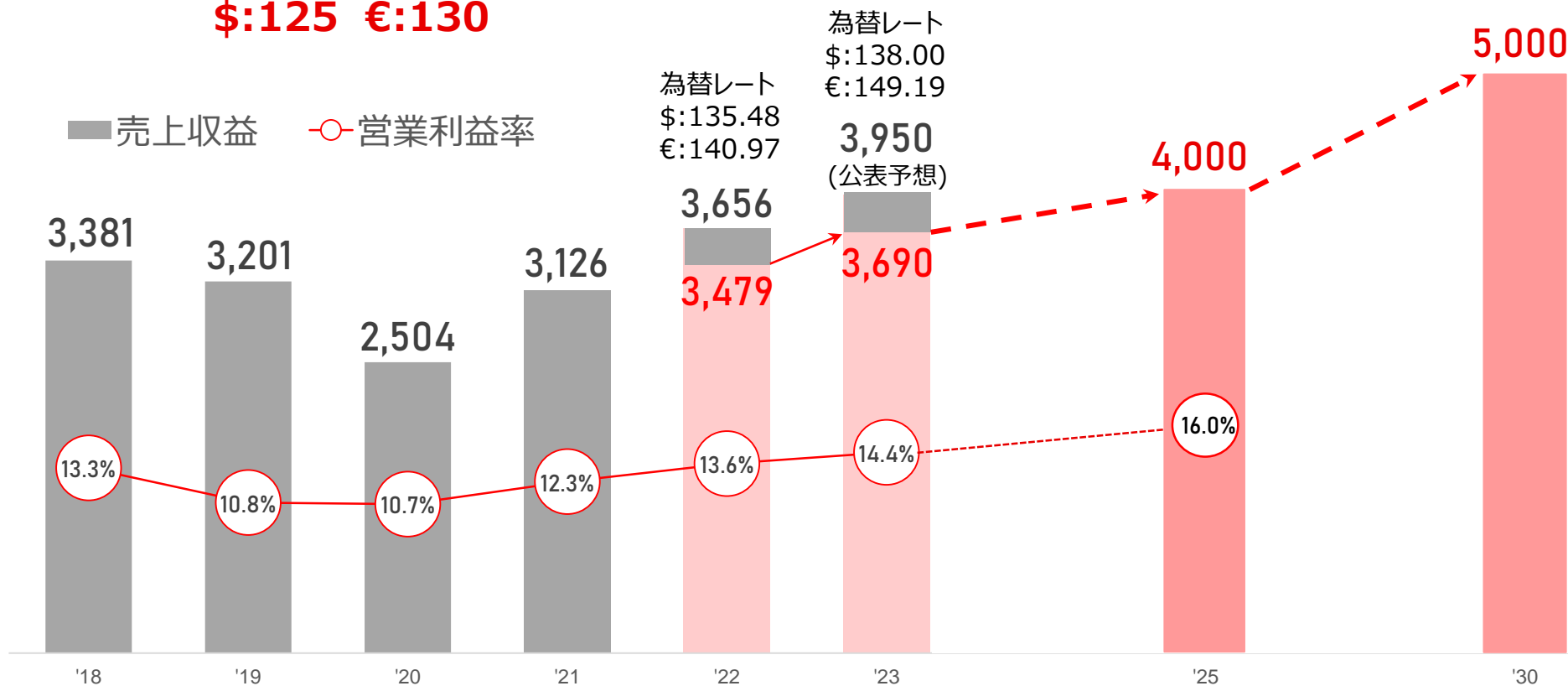
アフターサービス強化

新領域

海外市場拡大

中期経営計画 為替レート

\$:125 €:130



2023年2月、誘客施設をリニューアルオープン

主力板金製品129機種の80%で新商品を投入

進化した新商品群により、持続可能な社会の実現に向けた取組みを加速



生産性・環境対応



高速化・高精度
ファイバー
レーザマシン



Co2排出
オイル使用削減
電動サーボ
バンダー



溶接自動化
レーザ溶接
ラインアップ拡充

新操作系NC

AMNC 4ie

誰でも使いやすい
操作支援装置



顔認証で識別
自動言語表示
(15カ国語に対応)



やるべきこと進捗状況が
一目瞭然

製造DX

製造DXソリューション

LIVLOTS



生産管理・工程管理
生産状況の見える化



現場間での情報共有
をリアルタイムで実現



▶ 2024年4月 アマダウエルドテックを吸収合併

レーザ・溶接事業・新領域拡大に向けた統合

アマダの強み
レーザ光操作技術・加工技術ノウハウ

アマダウエルドテックの強み
微細加工ノウハウ・モニタリング技術

現有技術の応用と新加工技術
の早期確立を目指す

高成長が期待できる分野



ALCIS-1008e
PHOTONIX2023出展

- ・3次元レーザ統合システム
- ・ブルーレーザ発振器搭載
- ・切断、溶接、積層造形が1台で可能



バスバー



EVの車体部品



積層加工サンプル

E-Mobility



モーター

電池関連



バッテリー

半導体



シリコンウェハ

マイクロチップ

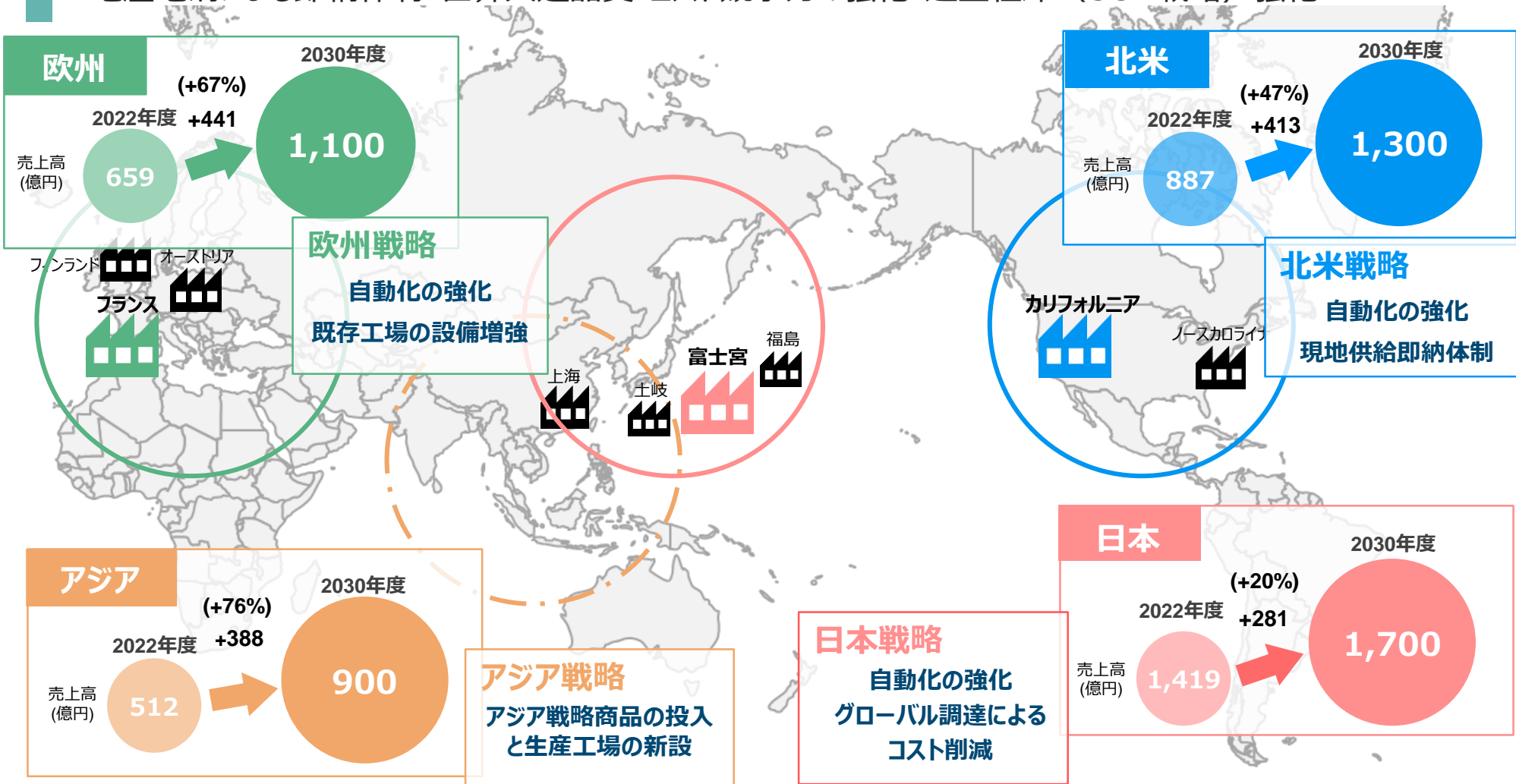
医療



ステントチューブ

海外供給体制の強化と収益力の改善

地産地消による即納体制・世界共通品質・コスト競争力の強化・適正在庫（SCM戦略）強化



成長戦略の実現、持続可能な企業価値の向上に向けたESG経営の促進

環境 Environment

CO2 排出量削減

- 販売する商品
- 自社事業所と工場

- 太陽光発電の設置、事業所のLED照明への置換
- 2022年11月：SBT認証取得（Scope1~3）
- ファイバーレーザの発振効率の向上
- AI搭載新NC装置による段取り削減・生産性向上



社会 Social

- 人財能力開発
- ダイバーシティ推進
- 働きがいある職場づくり

- 成長戦略に即した専門人財の教育強化(先端技術・DX・グローバル等)
- 女性の能力が発揮できる環境の創出とリーダーの育成強化
- 柔軟な勤務形態と適正な評価・給与制度



ガバナンス Governance

- 取締役会の多様性
- 取締役会の機能強化
- 役員報酬制度の改定
- コンプライアンスの徹底
- リスクマネジメント強化

- 多様な視点・価値観による持続的成長の確保
- 中長期的課題の議論とモニタリングによる実効性向上
- 中長期目標の達成・企業価値向上に資する報酬体系
- 行動規範の見直しと浸透によるコンプライアンス意識の醸成
- 成長戦略の進展に即した情報セキュリティリスク対策の強化等



定量・定性指標に基づくESG推進による持続的成長を伴う企業価値の向上

指標		FY2022	FY2025	FY2030
環境	商品CO2削減	811,635 t-CO ₂ (FY13)	50%減	50%減 (FY13比)
	事業所CO2削減	59,185 t-CO ₂ (FY13)	70%減	75%減 (FY13比)
社会	1人あたり教育研修時間	33.4時間 (アマダ)	40時間 (グループ国内*)	45時間 (グループ国内)
	女性管理職数	15人 (グループ国内)	24人 (グループ国内)	40人 (グループ国内)
	新卒採用女性比率	20.4% (グループ国内)	25% (グループ国内)	25% (グループ国内)
	有給休暇取得率	68.4% (アマダ)	80% (グループ国内)	100% (グループ国内)
	育休取得率 男性/女性	60.9%/100% (グループ国内)	70%/100% (グループ国内)	100%/100% (グループ国内)
ガバナンス	取締役会の多様性確保	独立社外取締役 4/9 女性取締役 1名	多様性の向上	維持・向上
	役員報酬・制度の見直し	-	中長期インセンティブプランの導入	責任者体制強化

* グループ国内：アマダ、アマダマシナリー、アマダウエルドテック、アマダプレスシステム、アマダツールの5社

ESG経営の着実な実行に向け、社内の取組みを促進(2023年度の取り組み)

インデックス採用

- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数構成銘柄に選定
- Morningstar 日本株式 ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数構成銘柄に選定
- 「人的資本」に着目したESG投資指数「iSTOXX MUTB Japan プラチナキャリア150インデックス」の構成銘柄に選定

2023 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

STOXX
Indices by Qontigo

Member 2023/2024
Platinum Career
Index

環境対応

- 「RE100」に業界初加盟

全拠点（グループ会社含む）の事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーにすることを目指す国際的な環境イニシアティブ「RE100」に加盟

CLIMATE GROUP
RE100

- QCD+C（SBT認証支援）



販売先ユーザのSBT申請支援サービスと認証取得後のCO₂モニタリングサービスを組み合わせた販売施策を展開。ユーザのSBT認証に伴う補助金の優遇措置、CO₂の排出を抑制する新規設備の導入を支援

社会

- 子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得

厚生労働大臣が認定する「くるみん認定」を2023年8月21日付で取得



- 「健康経営優良法人2024」に認定



中期経営計画におけるESG経営・体制強化のテーマの一つ「働きがいのある職場づくり」に関して、従業員の健康保持・増進、活力向上を「長期に渡り安心して働く上での基盤」と捉え、健康経営に取り組んでいる。2024年3月11日付で「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」に認定

連結配当性向50%を目安とした安定配当と自己株式取得によるROEの向上

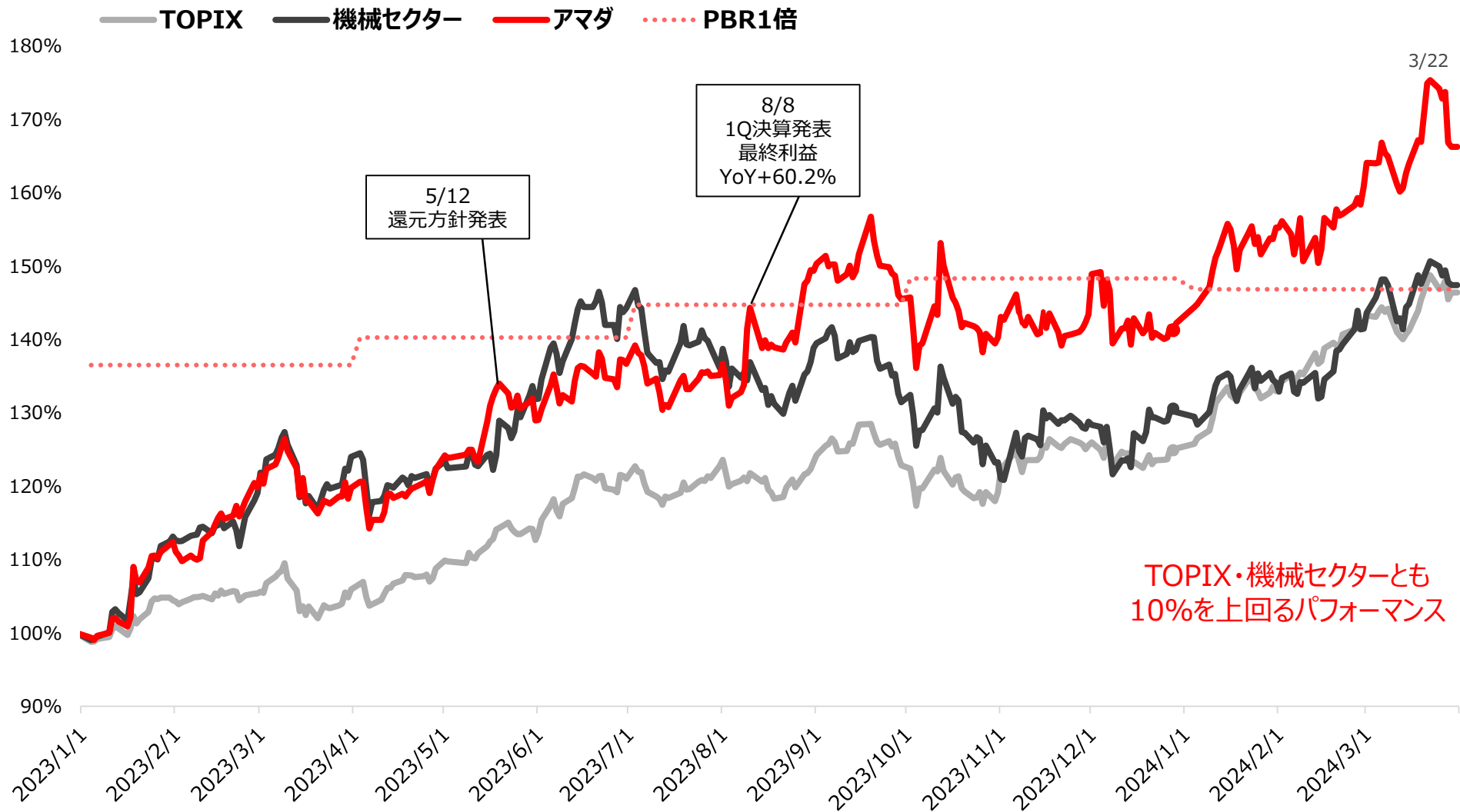
株主還元 方針

- ① 連結配当性向50%を目安に、株主資本配当率（DOE）3～4%程度の範囲内で、年間の配当額を決定
- ② 自己株式取得枠として400億円～600億円を想定するとともに、キャッシュフローの状況などを考慮した上で、継続的かつ段階的に自己株式の取得を実施

	2019年度 (実績)	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2023年度～ 2025年度 (中期経営計画)	2023年度 (予想)
配当性向 〔1株当たり配当金〕	72.8% (48円)	56.2% (30円)	47.6% (38円)	48.9% (48円)	50%以上	50.1% (57円)
DOE4%とした場合 の仮想配当金額	(50円)	(51円)	(53円)	(57円)	3～4%程度	3.8%
自己株式取得額	100億円	—	—	—	400～600億円	200億円
総還元性向 (総還元額)	115.6% (266億円)	56.2% (104億円)	47.6% (132億円)	48.9% (166億円)	—	101.4% (395億円)

株価の推移（2023年1月～2024年3月）

2023/1/1時点（2022/12/30）を100%とした株価推移



注：機械セクターの内訳 オークマ、ファナック、牧野フライス、DMG森精機、安川電機の5社平均

日経平均株価（日経225）

JPX 日経インデックス400

日経高配当株50

アマダ IR

検索

<https://www.amada.co.jp/ja/ir/>

企業ホームページ
最優秀サイト
2023
日興アイ・アール
総合部門



IRメール配信
登録はこちら

ご登録いただいた方へ
適時開示情報やお知らせを
タイムリーにお届けします





本資料、プレゼンテーション及び質疑応答の際の回答には、将来の業績見通しや戦略が含まれ、これらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なることをご承知おき下さい。